

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2020
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.118, (2020. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01180001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究

第百十八号

目次

- 1 室町時代公武月次歌会の諸相——応仁・文明の乱を軸に 川上一
25 大東亜の「夢」を葬るまで——林房雄の南方体験と「失はれた都」
須山智裕
41 『水滸伝』文簡本の泣き描写 石川就彦
-

91 彙報

2019年度藝文学会シンポジウム 詩とその活用—5カ国篇

- 100 質疑応答
112 ドイツの「中世ロック」について 識名章喜
121 オクシタニア中世抒情詩と詩の活用 川口順二
126 中国に於ける詩の活用——蔵書家を詩に詠んだ名作 高橋智
134 平安貴族は詩をどのように活用したか 佐藤道生
- 149 廬隱の小説における男性二人・女性一人の三角関係
——「藍田の懺悔録」を中心に 松倉梨恵
164 現代日本語における格助詞「で」と「から」の比較
——本質的機能の仮説と制約の説明—— 芦野文武、伊藤達也
180 舞踊美学におけるイリュージョン——イヴァナ・ミュラーにおける
You Cannot dance alone の考え方 宮下寛司
196 自然研究者の類型学——E. T. A. ホフマン『ハイマトカレ』について——
中村大介
211 「啓蒙主義」的な読書の切り崩し
——E. T. A. ホフマン『花嫁選び』における引用 池中愛海
228 商標の普通名称化における言語学的諸相
——コーパス法言語学の可能性—— 五所万実
242 「枠」に抵抗する幽霊としての Julia
——*After Leaving Mr. Mackenzie* における絵画表象—— 近野幹結

慶應義塾大学藝文学会